

図書室だより

10月27日～11月9日

読書週間 2015年標語 いつだって、読書日和

☆読書週間とは☆

終戦の2年後の1947年(昭和22年)、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と決意をひとつに、出版社、取次会社、書店と公共図書館が力を合わせ、さらに新聞・放送のマスコミ機関の協力のもとに、11月17日から23日に第1回「読書週間」が開催されました。

これは11月16日から1週間にわたって開かれるアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」にならったものです。各地で講演会・図書に関する展示会が開かれ、その反響は大きなものでした。「一週間では惜しい」との声を受け、現在の10月27日から11月9日(文化の日をはさんで2週間)となったのは、第2回からです。



それから60年以上が過ぎ、「読書週間」は国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民」の国となりました。その一方、物質生活の豊かさに比べ精神生活の低迷が問題視されている昨今、論理的思考の基礎となる読書の重要性は、ますます高まっています。

本年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりの読書への関心と、読書習慣の確立の契機となることを願ってやみません。

青少年センター図書室では、期間中11月3日文化の日の図書フェスティバルを中心に、図書展示や古雑誌・古本リサイクル市なども開催いたしますので、ご家族お誘い合わせの上ぜひご来場ください。

11月3日文化の日 図書フェスティバル

青少年センター会場

開館時間：午前9時から午後5時まで

○「オペレ」による人形劇

午前10時30分から

○展示「昔懐かし時代劇展」

○大型絵本・しかけ絵本展示

○古雑誌リサイクルコーナー



総合福祉センター会場

開館時間：午前9時30分から午後1時まで

○子どもお楽しみコーナー

わなげ、縁日、くじ引き

昔のあそびなど

みんな遊びに
来てね!!



青少年センターからのお知らせ

～夜間プラネタリウム投映会～

「秋の星座とペガサス神話」

秋の日はつるべ落とし…といわれますが、そのとおり日も急に短くなってきました。秋の夜空の道案内役「秋の四辺形」のうちの3つを含む星座、「ペガサス座」。英雄ペルセウスとともに冒険したペガサスにまつわる神話と、秋の夜空についてお話ししていきます。

晴天の場合は引き続き天文台で実際に星を観察しますのでぜひご参加ください。

とき 11月19日(木) 午後6時30分
ところ 青少年センター2階

～ATTENTION!～

※夜間プラネタリウム投映会、観望会は夜間開催のため、小・中学生のみでの参加の場合は保護者の同伴もしくは送迎が必要です。

※このコーナーへのお問合せは
社会教育グループ

TEL 27-2495までお願いします。

